

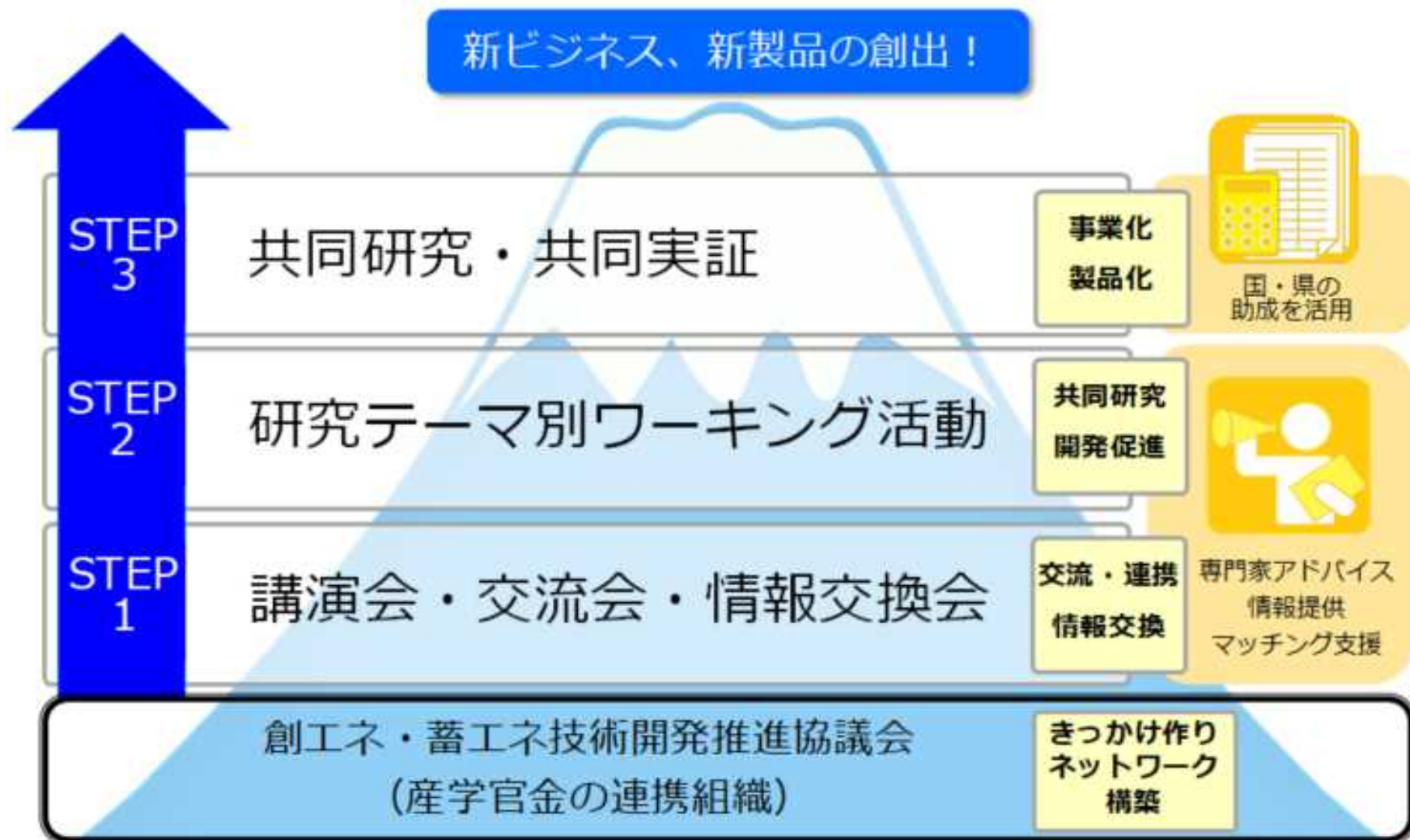
静岡県創工ネ・蓄工ネ技術開発 推進協議会の取組

令和5年1月

静岡県経済産業部
産業革新局エネルギー政策課

協議会の概要

- 産学官金の連携により、**再生可能エネルギーや蓄電池等の創エネ・蓄エネに関する技術開発や実用化を促進**
- 地域企業の**エネルギー関連事業への参入促進やエネルギーを軸とした新たな次世代産業の創出**を目指す



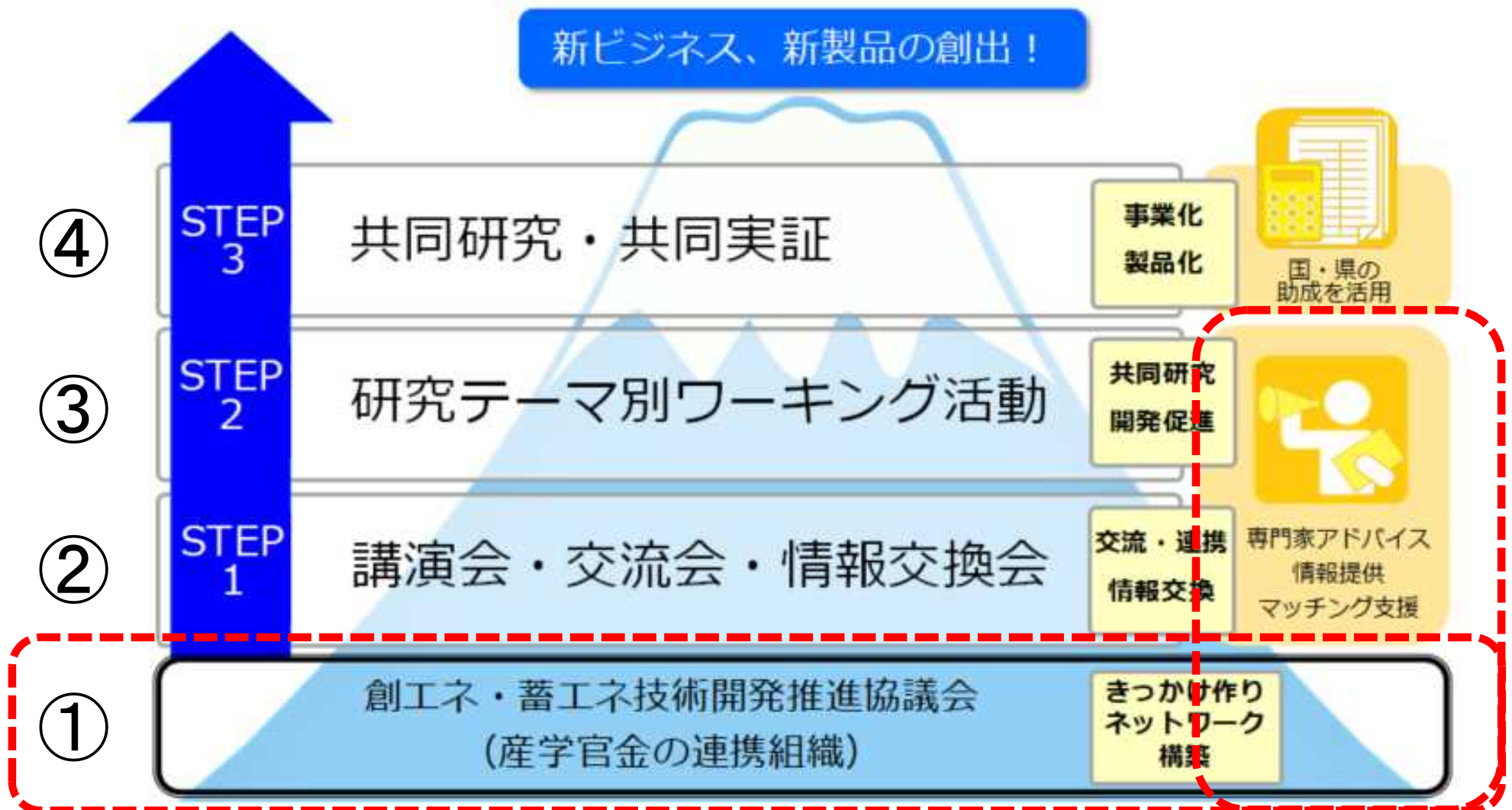
目次

1. 静岡県創エネ・蓄エネ技術開発推進協議会
2. 講演会・交流会・情報交換会
3. 研究テーマ別ワーキング活動
4. 共同研究・共同実証
5. 水素部会



1. 静岡県創エネ・蓄エネ技術開発推進協議会

- 産学官金の連携により、**再生可能エネルギーや蓄電池等の創エネ・蓄エネに関する技術開発や実用化を促進**
- 地域企業の**エネルギー関連事業への参入促進やエネルギーを軸とした新たな次世代産業の創出**を目指す



1. 静岡県創エネ・蓄エネ技術開発推進協議会

ふじのくにエネルギー総合戦略（令和3年度改定）

➤ 2030年度の目標

県内の温室効果ガス排出量削減率 **46.6%以上**（2013年度比）

➤ 計画期間

2022年～2030年

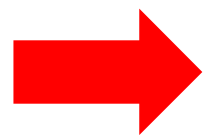
➤ 目指す姿（最終目標）

- ・2050年カーボンニュートラル社会の実現
- ・本県での「経済と環境の好循環」の形成

1. 静岡県創エネ・蓄エネ技術開発推進協議会

➤ 戦略の柱立て

戦略	内容
<戦略1> 再生可能エネルギー等の 最大限の導入促進	・各家庭や事業所への太陽光発電設備の導入促進 ・地域資源を生かした再エネ導入拡大（小水力・バイオマス等） ・再エネの出力変動に対応するためのVPPの社会実装を推進
<戦略2> 脱炭素化に合わせた産業の振興	・産業エネルギーの電化を支援 ・電化が難しい分野での脱炭素エネルギー（水素等）の導入促進
<戦略3> 二酸化炭素の吸収源対策	・森林等の二酸化炭素吸収源の確保 ・「ブルーカーボン」の活用を通じた産業の振興
<戦略4> 徹底した省エネルギーの推進	・産業、業務、家庭、運輸それぞれの分野での 徹底した省エネルギー対策



産学官金の連携による技術開発・実用化、導入促進

1. 静岡県創エネ・蓄エネ技術開発推進協議会

◆目的

産学官金の連携により、再生可能エネルギーや蓄電池等の創エネ・蓄エネに関する技術開発や実用化を促進し、地域企業によるエネルギー関連事業への参入促進やエネルギーを軸とした新たな次世代産業の創出を図るため、平成30年7月に設立。

◆会員

企業、大学・研究機関、産業支援団体、金融機関、市町など

◆会員数

206 企業・団体 (令和5年1月20日現在)

※設立時108社・団体

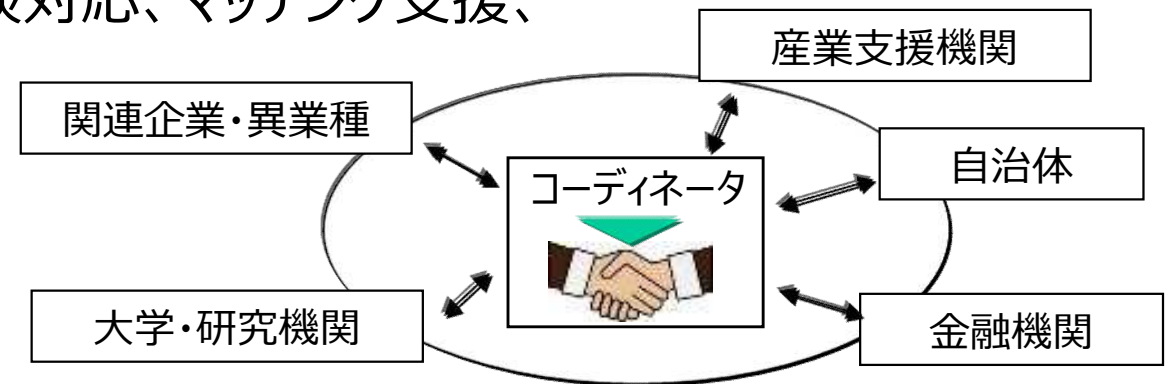


1. 静岡県創エネ・蓄エネ技術開発推進協議会

<協議会における会員への支援内容>

○ コーディネータの配置

- ◆ 2名のコーディネータを設置（環境資源協会に配置）
- ◆ 企業訪問によるニーズ調査、相談対応、マッチング支援、関係機関との連携支援



○ 会員用webサイトの運用

- ◆ 創エネ・蓄エネに関するセミナー、講演会等の情報提供
- ◆ 国、県、関係機関等の支援制度に関する情報提供
- ◆ 協議会の取組の情報発信 など



2. 講演会・交流会・情報交換会

- 産学官金の連携により、**再生可能エネルギーや蓄電池等の創エネ・蓄エネに関する技術開発や実用化を促進**
- 地域企業の**エネルギー関連事業への参入促進やエネルギーを軸とした新たな次世代産業の創出**を目指す



2. 講演会・交流会・情報交換会

<講習会、交流会、情報交換会の開催>

講演会

有識者等の講演、先進事例の取組紹介



視察会

会員、ワーキンググループによる先進地視察



ビジネスマッチング交流会

大学・研究機関のシーズと企業との
マッチング、企業間連携の促進



ワーキンググループ設置

マッチング成果をもとに、**研究テーマ別のワーキンググループを設置**



3. 研究テーマ別ワーキング活動

- 産学官金の連携により、**再生可能エネルギーや蓄電池等の創エネ・蓄エネに関する技術開発や実用化を促進**
- 地域企業の**エネルギー関連事業への参入促進やエネルギーを軸とした新たな次世代産業の創出**を目指す



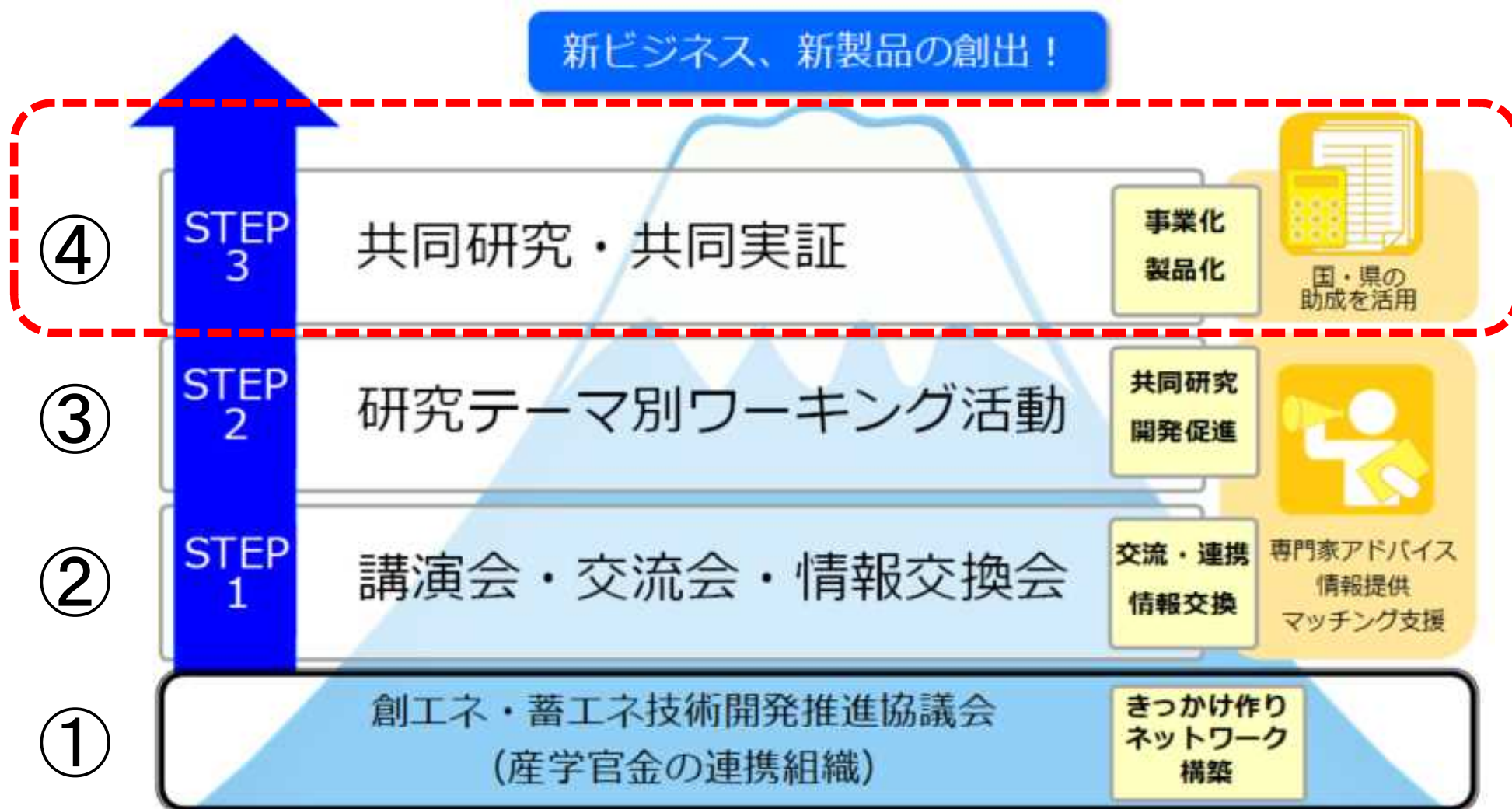
3. 研究テーマ別ワーキング活動

<令和4年度現在の研究テーマ別ワーキング活動>

No	内容	構成メンバー	設置年度
1	高効率小水力発電設備の開発	静岡中部金属開発協同組合、MNJ(株)、SEIWA（電研テックプロダクツ）、川根本町	H30
2	廃棄処分している草木類を燃料として有効活用した草木ペレット発電機の開発	東海大学（田中名誉教授）、東海大学 海洋学部、(株)白鳥建設、イハラ建成(株)、コーケン工業(株) 他	H30
3	温泉とそこに含まれる微生物群集を利活用し、メタンと水素ガスを生成する実証事業	静岡大学、(株)エコアドバンス、(株)電業社機械製作所、静岡市	H30
4	未利用バイオマスを利用した木質ガス化発電設備により、水素を分離・活用する技術の開発	テラエナジー、(株)キャタラー、名古屋工業大学	H30
5	長寿命制御技術による低廉な蓄電装置と太陽光発電との一体型自立発電システムの開発	(株)Plan Be、朋電舎(株)、(株)セイシング	H30
6	遠隔監視システムを用いたメタン発酵システムの研究開発	山梨罐詰(株)、平井工業(株)、(株)加藤製缶鉄工所、(株)永田デザイン、ホクレアシステムズ(株)	R2
7	食品残渣乾燥加工バイオマスコジェネシステム構築等発電システムの研究開発	(有)燦有機研究所、(株)NEWSCON	R2
8	バイオマスを始めとした有機性廃棄物や未利用炭化水素資源のエネルギー転換	沼津工業高等専門学校 CR-POWER(合)、エコム(株)	R3

4. 共同研究・共同実証

- 産学官金の連携により、**再生可能エネルギーや蓄電池等の創エネ・蓄エネに関する技術開発や実用化を促進**
- 地域企業の**エネルギー関連事業への参入促進やエネルギーを軸とした新たな次世代産業の創出**を目指す

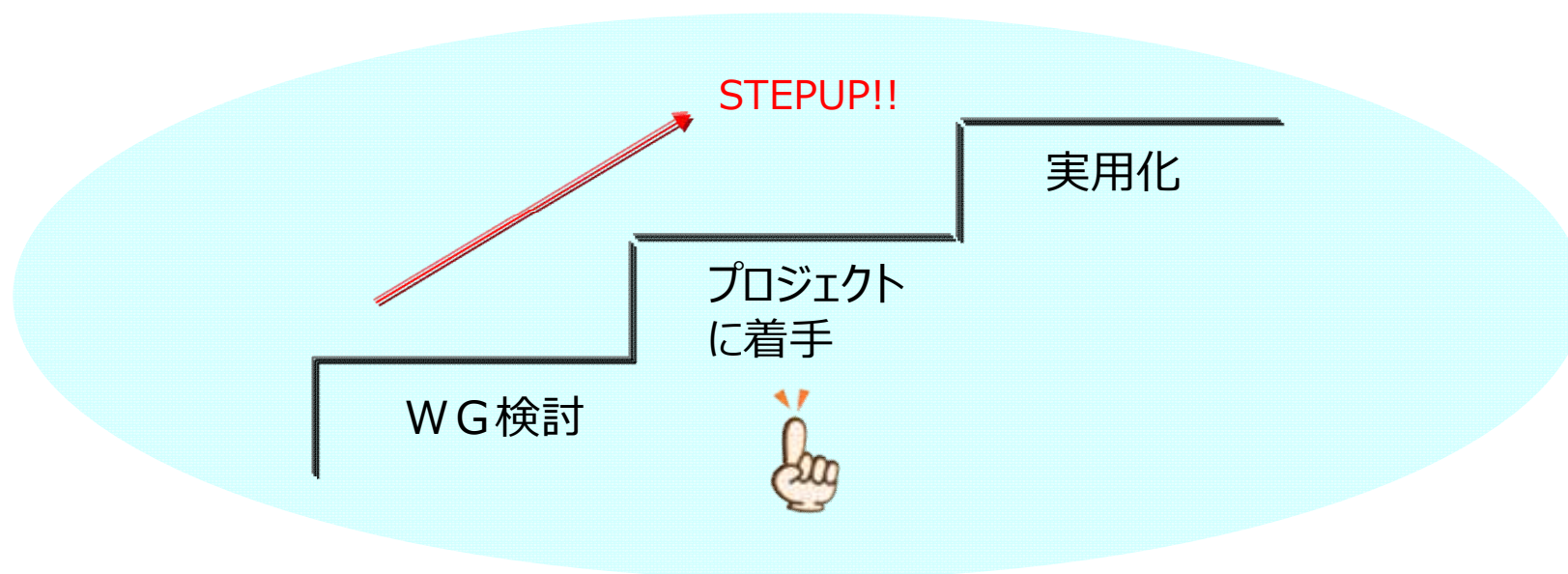


4. 共同研究・共同実証

<共同研究・共同実証の取組>

○技術開発・実証事業への事業費助成

- ◆ ワーキンググループで検討されたプロジェクトのうち、熟度の高まった事業の実施において、研究開発・実証試験に係る事業費に対して、国補助金を活用した助成を実施



4. 共同研究・共同実証

<助成制度>

◆ 技術開発・実証試験の必要経費に対する助成（全額国庫）

- ・ 対象：協議会のワーキンググループで検討した、再エネ及び省エネに資する先進的な技術開発を行う県内企業等
- ・ 補助率：10/10
- ・ 限度額：上限1億円（複数WGの申請があれば調整）

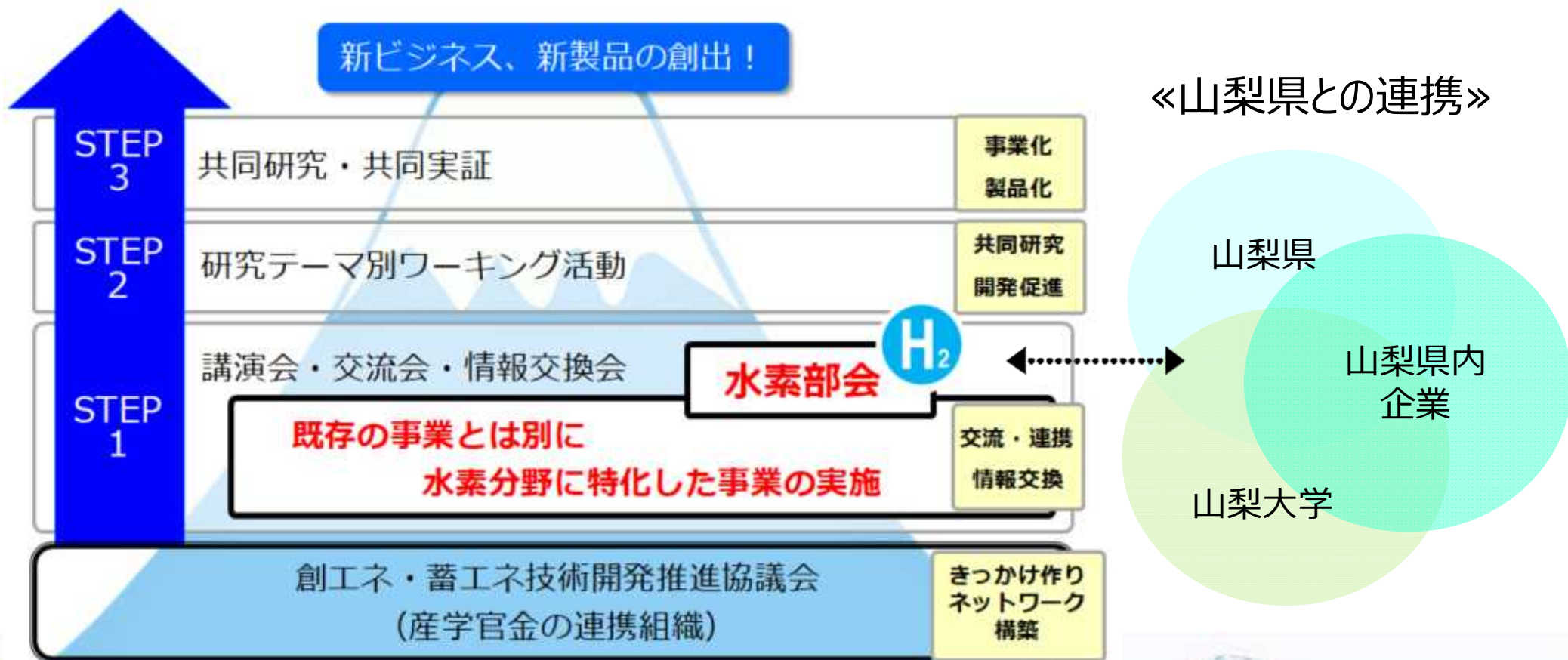
（単位：千円）

No	補助事業	実施者	実施年度	補助実績
1	高効率小水力発電設備の開発	静岡中部金属開発協同組合	R1、R2 ⇒製品開発完了	35,716
2	廃棄処分している草木類を燃料として有効活用した草木ペレット発電機の開発	リニューアブルエナジー・ジャパン(株)、コーケン工業(株)	R1、R2、R3	77,178
3	温泉とそこに含まれる微生物群集を利活用し、メタンと水素ガスを生成する実証事業	(株)エコアドバンス	R2、R3	14,755
4	遠隔監視システムを用いたメタン発酵システムの研究開発	ガイアフローディスティリング(株)、山梨罐詰(株)	R3	60,000

5. 水素部会

＜水素部会の設立趣旨＞

- ・「静岡県創エネ・蓄エネ技術開発推進協議会」に「水素部会」を立ち上げ
講演会、視察会、企業間交流などを通じて、県内企業の連携を促進
⇒ 水素関連産業への新規参入・事業拡大を図る
- ・水素・燃料電池分野で先行する山梨県との連携を進める



今後の事業スケジュール

<令和4年度 年度末スケジュール>

区分	事業内容	12月	1月	2月	3月	
主な取組	講演会		● 本日(1/20)	←→ <動画配信>		
	先進地視察	● 12/5・6		←→ <動画配信>		
	ビジネスマッチング交流会	● 12/15	←→ <動画配信>	←→ <マッチング>	←→ <WG立ち上げ>	
	ワーキンググループ活動 (継続)	→				● 成果報告会予定
	【水素部会】山梨県提供 人材養成講座の配信		←→ <希望者照会>	←→ <動画配信>	←→ <アンケート>	←→ <動画配信>
会員支援	コーディネータ配置	→				企業訪問、随時相談受付
	webサイト運用管理	→				情報提供
	共同研究・共同実証の 技術開発への助成	→				R4年度 技術開発等助成 <実績報告提出>

富国有徳の美しい“ふじのくに”



Shizuoka Prefecture

静岡県は、創エネ・蓄エネ事業に取り組む皆様を応援します！



未来の
ために、
いま選ぼう。